

研究情報の公開について(オプアウト)

信州上田医療センターを受診された患者様へ

当院では下記の臨床研究を実施しております。

本研究の対象に該当する可能性のある方で診療情報提供を研究目的に利用または提供されることを希望されない場合は、下記のお問い合わせ先までご連絡ください。

研究課題名(研究番号)	看護師の身体拘束体験演習を通じた意識の変化
当院の研究責任者(所属)	看護部 看護部長室 認知症看護認定看護師 牛山 祐子
他の研究機関および各施設の研究責任者	なし
本研究の目的	当院は、急性期病院であり、安全な治療を優先するために、身体拘束が第一選択になっているケースが多い現状がある。医療安全リンクナース会や認知症ケアリンクナース会で抑制を減らすための取り組みを実施しているが、抑制率の減少にまで至っていない。そのため、看護師が身体拘束を体験することで患者の気持ちを理解し、抑制を行わないケアの必要性を考えるきっかけになるのではないかと考えた。 コロナ禍で集合研修や演習が実施できず、現場でのOJTが主体となっている看護師に対して、正しい知識の習得と演習を集合教育で行うことで、グループワークなどの対話によりさらに知識を深めやすいと考え研修を実施する。研修前後での研修生の意識の変化を比較し、体験演習の効果を評価する。
調査期間	2022年10月～2023年2月
研究の方法 (使用する資料等)	・対象者:看護師20名 ・データ収集方法 1)研修開始前・終了後に身体拘束についてアンケート調査 ・分析方法 1)アンケート結果を、研修前後で比較
試料情報の他の医療機関への提供および提供方法	他の医療機関への試料・情報の提供はない
個人情報の取り扱い	調査への協力は回答者の自由意思であり、同意が得られなくても何ら不利益を受けることはありません。得られた情報は今回の調査目的以外には使用しません。調査用紙には無記名で記載していただき、個人が特定されることはありません。調査への回答をもって同意いただいたこととさせていただきます。 データ入力の際はコード化し、匿名性の確保に十分注意します。データは今回の調査目的以外には使用しません。また、紙媒体はシュレッダー処理します。 本調査内容の結果は学会の公表を予定し、その際も個人が特定されないようにします。
本研究の利益相反	本研究に関連して開示すべき利益相反関係にある企業等はありません
お問い合わせ先	担当者:看護部長室 認知症看護認定看護師 牛山祐子 内線番号 4509
備考	